

競技注意事項

1 規則について

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 競技場の入場及び競技者受付と競技者インフォメーション（TIC）について

- (1) 競技場への入場は、係員の指示に従って行動すること。
- (2) 学校・団体受付をTIC（メインスタンド正面入り口に設置する）にて行う。
- (3) 開門時刻は、全日程ともに8時00分とする。
- (4) プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、出場する競技の90分前まで（あるいは8時30分まで）にTICに申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (5) プログラムは、残部がある場合に限り、TICにて販売する。
- (6) 記録証は1部300円で発行する。希望者は、1日目は15:00までに、2日目は14:00までにTICに申し出ること。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識、安全ピンは主催者が用意する。
- (2) アスリートビブスは配付されたままの大きさと、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、ランニングパンツの右側上部、記載の数字が身体の真横の位置となるように注意して付けること。

4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、（競技運営上、一時的に制限することがある。）指定された場所・時間の範囲内で各々が事故防止に万全を期して行うこと。
- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、ウォーミングアップの際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。※指導者・引率者等は競技場内のスタンドから助言（指導）を行うこと。
- (3) ウォーミングアップを競技区域内で行う際には、入退場は100mスタート側からのみ可とする。
- (4) トラック競技のウォーミングアップは9時15分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時15分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。
- (5) ハードルの練習については以下の通りとする（4月20日のみ）。

種別	設置レーン	場所	時間
共通男子 110mH	6～8レーン	メインストレート	8:15～9:15
共通女子 100mH	3～5レーン	メインストレート	8:15～9:15
	6・7レーン	バックストレート	8:15～9:45

- (6) フィールド競技の練習は競技開始前に各競技実施場所で競技役員の指示に従って行うこと。

5 招集について

- (1) 競技者招集は、競技日程に記載された開始・完了時刻の間に招集所（100mスタート地点後方のAゲートに設ける）にて行う。なお、招集完了時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱う。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集の際、腰ナンバー標識を受け取り、所定の位置に固定してから競技場所へ向かうこと。
- (3) 棒高跳の招集は競技実施場所で行う。

6 競技について

- (1) 競技用靴について、以下のとおりとする。
 - ① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。
 - ② 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。
 - ③ 使用された靴に関して審判員が疑義を抱いた場合、競技後に審判長の権限で検査を行うことがある。

トラック種目（800m未満）	20mm
トラック種目（800m以上）	25mm

フィールド種目（投てき種目）：靴底の厚さを適用しない。

- (2) トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。
- (3) 走幅跳、砲丸投、円盤投の試技は3回とする。
- (4) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (5) 800mのスタートはオープンレーンで行う。
- (6) リレーのメンバー変更について、メンバーのうち少なくとも2人は、そのリレーチームに登録した競技者でなければならない。この要件を満たしている限りは、同一団体に他の種目にエントリーしている競技者を出場させることもできる（TR24.10）。複数チームをエントリーしている場合はチーム間でのメンバー移動を認めるが、同一の競技者が複数のチームで出場することはできない。
- (7) リレーにおける第1、第2、第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまること。
- (8) リレーのスタート用マーカーは各チームで用意し、レース後はチームで責任もって外すこと。
- (9) 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、練習時のバトンは除く。
- (10) ハードルは次の規格で行う。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
男子110mH	13.72m	0.914m	9.14m	10台	14.02m
女子100mH	13.00m	0.762m	8.00m	10台	15.00m

- (11) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量
男子	砲丸投	5.000kg
女子	砲丸投	2.721kg
男子	円盤投	1.500kg
女子	円盤投	1.000kg

(12) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	競技
共通 男子	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後最後の 1 人になるまで 3cm 刻み
共通 女子	1m05 1m30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	以後最後の 1 人になるまで 3cm 刻み

※全体での順位付けは行わず、同記録であってもジャンプオフは行わない。

(13) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	競技
共通 男子	2m00 3m00	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	以後最後の 1 人になるまで 10cm 刻み
共通 女子	1m80 2m50	1m80	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	以後最後の 1 人になるまで 10cm 刻み

※全体での順位付けは行わず、同記録であってもジャンプオフは行わない。

(14) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

(15) グラウンド内は、原則として全て競技区域とする。従って、競技中の助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの競技中の助言（指導）は、審判長による警告（イエローカード）及び除外（レッドカード）の対象となる。

7 更衣室について

2A・2B 更衣室を女子用、3A・3B 更衣室を男子用とする。更衣のみ行き、荷物を置かないこと。

8 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果が電光掲示板により正式発表されてから 30 分以内にチームの公式な代表者が T I C に申し出ること。

9 その他

- (1) 競技者、競技役員及び大会総務から許可を受けた者以外の競技区域への立ち入りは、競技運営に支障をきたす恐れがあるため禁止する。
- (2) 申込み後の種目の変更は認めない。
- (3) スタンドでの盗難・置き引きには各自が十分に注意すること。主催者は一切の責任を負わない。
- (4) 傷害・紛失・その他の事故やトラブルについて、応急処置を除き主催者は一切の責任を負わない。
- (5) 各競技実施場所への入場は、必ず競技者係の誘導に従うこと。
- (6) 場内におけるウォーミングアップは、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (7) 本部前は通行禁止とし、セーフティコーン設置場所には立ち入らないこと。
- (8) 各自が出したゴミは必ず各自で持ち帰ること。
- (9) 競技場内の整備に努め、帰るときは自席周辺の清掃を行うこと。
- (10) 届けられた遺失物については、T I C で競技終了時まで保管する。
- (11) アスリートビブスを紛失し再発行する場合は、実費を徴収する。
- (12) その他不明な点は、T I C に問い合わせること。

競技会コード 24 13 3302

競技場コード 132090